



学校だより

1月

平成31年1月7日 横浜市立芹が谷南小学校

伝統的な文化のよさを

学校長 高木 篤子



平成最後の新年となりました。次につながるよい年になりますように。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、お正月には、新年の挨拶をしてお雑煮やおせち料理を食べ、初詣に出かけるなど、日本の伝統を感じる機会が多々あると思います。例えばおせち料理の品々について、数の子は子孫繁栄、田作り（ごまめ）は五穀豊穰、酢蓮（れんこん）は将来の見通し、昆布巻きは喜び、黒豆はマメに働けるようになど、調べてみるとそれぞれに意味や願いが込められていることが分かります。

ちなみに1月の給食は、日本の伝統的な食べ物や食べ方を知るように、10日になます・白玉雑煮、11日に田作りという献立です。

学校での様々な教育活動において、伝統文化に親しむ機会を設けています。

今年度、5年生は10月に落語を聞かせていただき、6年生は11月に久良岐能舞台で狂言を鑑賞しました。どちらも、目の前で本物の伝統芸能に触れることができました。1年生は12月に国語で昔話をたくさん読み、音楽で昔話の歌を歌いました。1月には生活科で昔遊びをします。昔遊びの会で、あやとり・めんこ・かるた・だるま落とし・けん玉・こま・お手玉・羽根つき・竹とんぼなど、地域の方々にご一緒していただけることを楽しみにしています。

全校の取組として、1月11日～18日に校内書き初め展を行います。子どもたちには、落ち着いた気持ちで筆を持って書と向き合い、文字の美しさを感じてほしいと思います。1月下旬～2月上旬には、4・5・6年生が百人一首大会を行います。冬休みの間に、百人一首の中で好きな歌を探したり、札をとる練習をしたりした子もいるでしょう。平安時代末期から鎌倉時代初期に藤原定家によって編纂されたといわれる古典を味わうことに価値を感じます。

さらに、年間を通して、本校の特色を生かした活動である「夢教室」において、地域のインストラクターの方々に和太鼓・お琴をそれぞれのクラブでご指導いただいています。夢教室の時間には、和太鼓の音が校内に心地よく響いたり、優しい琴の音色が音楽室で奏でられたりしています。囲碁将棋クラブでは、真剣に対局しながら学ばせていただいている姿が見られます。伝統文化クラブもあり、生け花やお茶の作法など体験を通して教えていただいています。料理・パソコン・スポーツなど、夢教室では17名のインストラクターの方々にお力添えいただき、感謝申し上げます。

時代の変化とともに、社会の中で伝統や文化について理解したり経験したりする機会が減りつつあります。国際化が進むにつれて、自国の文化を理解することが異文化を理解する基盤となることでしょう。子どもたちが伝統文化のよさに気づき、価値を理解することの大切さを感じています。